



# 議会だより

2006

平成18年

1月25日発行

No.99

- 発行…太良町議会 ○編集…議会編集委員会  
○〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954-67-2151  
○<http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



しおさい館で太良町振興策説明(1月13日)

○JR長崎本線存続期成会から離脱(1月24日)

○カキ洗浄機の購入補助(大浦漁協)160万円

○台風災害復旧事業費 農地9,710万円 漁港(渡瀬ノ浦)3,940万

# 11月臨時議会 28日開会

シロアリ駆除費(しおさい館、大浦中体育館)  
に700万円の補正予算

# 12月定例議会 12日～19日開会

一般会計に9,790万円を追加補正し  
総額50億2,836万円

## 臨時議会

## 定例議会

平成十七年度一般会計  
補正予算(第四号)の専決  
処分

総合福祉保健センター、  
大浦中学校体育館、シロア  
リ駆除委託料六百九十八万  
三千円の増額補正。

補正後の一般会計予算の  
総額は歳入歳出それぞれ四  
十九億三千四十六万円。

職員の給与に関する条  
例の一部を改正

平成十七年度八月十五日  
の人事院勧告に基づくもの  
で給与改定と平成十八年四  
月一日から実施の給与構造  
の改革による改正。

改定の主なものは、基本  
給平均〇・三%引き下げ、  
扶養手当月五百円を引き下  
げ、勤勉手当を〇・〇五%  
引き上げ、平成十八年四月  
改正は給料を平均四・八%  
引き下げ等給料表の改定

太良町長期継続契約に  
関する条例の制定

により、条例で長期継続契  
約を締結することができる  
約を制定。

平成十八年度四月から居  
宅介護支援事業及び通所リ  
ハビリテーション事業を開  
設また平成十八年一月三十  
日をもって歯科を廃止す  
るため。

太良町公の施設に係る  
指定管理者の指定の手続  
等に関する条例の制定

地方自治法の一部が改正  
され、公の施設の管理につ  
いて、管理委託制度にかわ  
り、指定管理者制度が導入  
されたことに伴い、指定管  
理者の指定の手続き等に関  
し必要な事項を定めるため。

母子健康センター設置  
条例を廃止

太良町母子健康センター  
は母子保健に関する各種の  
相談や指導を行つて來たが  
平成十一年総合福祉保健セ  
ンターの建設により役割を  
完了したので。

町立太良病院の設置等  
に関する条例の一部を改  
正

○佐賀県市町村職員退職手  
当組合を組織する地方公  
共団体の数の減少及び組  
合規約の変更に係る協議  
について

○佐賀県市町村消防団員公  
務災害補償等組合を組織  
する地方公共団体の数の  
減少に係る協議について  
○佐賀県市町村交通災害共  
済組合を組織する地方公  
共団体の数の減少及び組  
合規約の変更に係る協議  
について

○佐賀県市町村議會議員公  
務災害補償等組合を組織  
する地方公共団体の数の  
減少及び規約の一部変更。

○佐賀県市町村非常勤職員  
公務災害補償等組合を組  
織する地方公共団体の数の  
減少及び組合規約の変更  
に係る協議について

○佐賀県市町村非常勤職員  
公務災害補償等組合を組  
織する地方公共団体の数の  
減少及び組合規約の変  
更に係る協議について  
○佐賀県自治会館組合を組  
織する地方公共団体の数の  
減少及び組合規約の変  
更に係る協議について

町道の廃止

一般交通の用に供する必  
要がなくなつたため、町道  
江福線二十九・一メートル、

町道亀崎二号線百三十五  
メートルを廃止。

百十八万円等で、合計九千  
七百九十万二千円の増額補  
正。

補正後の一般会計予算の

総額は歳入歳出それぞれ五  
十億二千八百三十六万二千  
円。

### 太良町内の字の区域を 変更

県営中山間地域総合整備  
事業で実施した、燕田地区  
及び小田地区で、圃場整備  
工事により、従前の土地が  
原形をとどめなくなつた為  
に、字の区域の変更。

### 平成十七年度一般会計 補正予算（第五号）

### 平成十七年度国民健康 保険特別会計補正予算 (二号)

医療給付費の増額により  
一億三千七百二十六万千円  
の追加補正。

### 平成十七年度老人保健 特別会計補正予算(二号)

補正予算の主なものは、  
公共施設整備基金積立て三  
千四百七十四万六千円、総  
合福祉保健センター改修費  
三百万元、保育所運営委託  
料七百二十四万八千円、老

人保健特別会計への繰出金  
四千八百五十一万四千円、  
アスペクト検体検査料五十  
万七千円、家庭用合併処理  
浄化槽補助金百六十九万五  
千円、カキの洗浄機導入補  
助金約百六十万円、消防施  
設整備費補助金百二万千円、  
農地等災害復旧費九百七十  
五万円、漁港災害復旧費四  
五万円、

事業で実施した、燕田地区  
及び小田地区で、圃場整備  
工事により、従前の土地が  
原形をとどめなくなつた為  
に、字の区域の変更。

### 平成十七年度町立太良 病院事業会計補正予算 (第二号)

### 平成十七年度太良町 ケーブルテレビ施設整備 事業工事請負変更契約の 締結

鹿島・藤津地区衛生施  
設組合減少及び組合規約  
の変更。

### 平成十八年一月一日に塩 田町と嬉野町が合併し嬉野 市となり地方公共団体の数 の減少及び、組合規約の変 更。

### 平成十七年度簡易水道 特別会計補正予算(三号)

人事院勧告等に伴う人件  
費の補正と県営広域営農團  
地農道整備事業の配水管補  
償工事費等。

## JR長崎本線存続期成会から脱会

1月18日 JR存続期成会の桑原会長は太良町に  
JR存続期成会からの退会を勧告した  
1月24日 太良町百武町長は期成会会長からの退  
会勧告を受け、全員協議会を開催、議  
会の意向を聞く。その結果、議会は全  
会一致でJR存続期成会からの離脱を  
承認した。

# 町民の声を町政へ

## 一般質問



### 町営火葬場の その後の進捗状況は

山口 光章 議員

環境水道課長 地区住民の方で評議員会等もあることなので、その問題については協議の中に入れてもらおうと思っている、

くのがよいと思うが、課長の考えは。

答▼杉谷地区住民の方々と協議を重ねていきたい

築五十年経過し、老朽化が進んでいるが、火葬場はどうするのか

仮に改築するには地元の理解と、多額の財源が必要だ。

今の財政状況からみると大変厳しい状況下にあるし、協議を進めるにしても、地元の方々に、近代的な施設を視察してもらいたい理解を得たいと思つていたが諸般の事情で実現できなかつた経緯がある。

あつても、なくつても別にどうつてことはない。この三点が問題になつていると思うが、担当課がこの話にふれてみての感想と手ごたえはどうであつたか。

環境水道課長 一応地区へ出向きはしたもの、他の場所に移してもらいたい考え方、早く改修して改築をしてほしいなどの意見、考え方があるので今後協議を継続していくつもりでいる。

解決の糸口を早くつかんだ地区住民の意にあつた動きを見せるべきだと思う。課長も来年は定年であるが、今までにも「検討する」ということで去つて行つた担当課長もいるが、後者に引き継いで行く

◎その他給食費問題（滞納問題）給食費未収金の徴収方法などの質問をした。

現状維持でやつて行くのか。  
新設を考えているのか。

町長

築後五十年ということで老朽化をしている。

修理を重ねながら維持している状況で、保守点

検には細心の注意を払つて、早めに手当を行ひながら現状を維持している。

新しく新設して公園化にして欲しいし、環境の整備を用する。

特別に気にはしてない。

山口 二年余り前よりこの火葬場問題にはふれてはいるが、その後の進展が見受けられない。

火葬場の移転を考えているのか。

山口

問題点は施設を有する地区住民の考え方だと

思うが、三つにわけて、杉谷には火葬場は必要な

く移転して欲しい。

環境水道課長 二回程度出向いて協議をした。

山口 町民にとつても太良

町にとつても火葬場の必要性は大であると思う。



火葬場



## JR期成会から脱会せよ

恵崎 良司 議員

### 答▼同じ思いである

町長 まさにその通りだ。

知事は県全体の事を考

### 経営分離後の 県の提案について

恵崎 太良町は決断のときを迎えている。

江北町や鹿島市とは置かれている立場や地理的条件が全く異なっている。

期成会と一蓮托生では何の進展も見込めない。

県は地域振興に対しても積極的に支援すると表明しているので、振興策を大いに協議して、合意ができれば政治決着を選択するものが得策と思う。

今や本町の振興を図る千載一遇のチャンスであり、将来的にも県と協調関係のもとで町づくりを進めるのが賢明と考えるが。

町長 私の思いも同じである。

### 費用対効果について

恵崎 長崎ルートの全体費

用は二千七百億円だが、佐賀県の実質負担額は。

企画課長 総額で二百十七億円。

恵崎 太良町の負担分は、企画課長 把握していない。

恵崎 本町の負担金は全く無く、全体費用は国の八十何兆円の予算の中から、

### 並行在来線に対する 考え方について

恵崎 初期は並行在来線で

はないと考えていたが、今は並行在来線に指定さ

れたからこそ、経営分離に伴う振興策を得られる

機会ができた、まさに「ピンチはチャンス」、「災い転じて福となす」と考

かれるのが先決課題だ。効果は、長崎県は終着駅効果があるが佐賀県は通過県なので少ないので、

町長 その点も多とするが、

本町はJRによつて差別

を受けてるので、県の

整備としての道路整備で、県道多良岳公園線、北町踏切、国道207号の早

期改修、広域農道の早期開通等を、また地域振興

恵崎 県の郵送パンフに示された案を私は了<sup>りよう</sup>とする

が、最大のポイントはタ

イムラグつまり時間軸のズレ、建設は十二、三年かかるという点だ。

各課長には地域振興にかかる必要か、提出する

よう助役に指示している。

十三年後のこと細かい注文をつけるより、

もつと近未来、手前の振興策を前向きに協議すべ

きと考えるが。

町長 提案が永劫に続くのか心配があるので、JR

から負担金を取れるのな

ら県を信頼したいと思つ

ていて。

要はない。

### 振興策について

恵崎 振興策の基本は基盤

整備としての道路整備で、

県道多良岳公園線、北町

踏切、国道207号の早

期改修、広域農道の早期開通等を、また地域振興

町長 基金は一つの重要なポイントで、地域振興、事業に使える基金をできたら欲しいと思っている。

町長 基金の創設を是非提案し

ておきたい。



### 答▼行政評価システムを導入してから

**坂口** 今後、厳しい財政状況が予測される中、満足度の高い行政サービスを提供していくことと、将来に向けた行財政システムのあり方を考えていくことが今後の課題だと思う。

**町長** 行政評価システムと連動させる必要があると考へている。

行政評価システムにより事務事業の検証を行い、外部委託が可能かどうかの判定項目を設けて、コストを計測し、外部委託のコスト見積もりと比較検討した後で行政が行うべきか、あるいは外部委託が合理的か総合的に判断するという手段が望ましいと考えている。

1、町民のニーズに幅広くこたえることができる。  
2、費用を節減できる。  
3、収支が期待できる。  
4、雇用が生まれる。  
そこで、外部委託の推進を今後具体的にどう進

**総務課長**

外部にゆだねることによつて、民間等の

進を今後具体的にどう進

**坂口** 行財政改革プランに外部委託の推進を盛り込

**町民福祉課長**

外部にゆだねることによつて、民間等の

進を今後具体的にどう進

平成十六年

## 外部委託を推進せよ

知識やノウハウを活用して行政の質の向上やコスト削減などを図つて効率的、効果的な行政業務の執行が図れないかという視点から。

**坂口** PFIを活用しての公営住宅の建設。

民間の資金で建設し家賃収入で返済していく独立採算型は考えられない

**坂口** 外部委託のメリットの一つが費用を抑える事だが、役場職員の平均時給はいくらか。

**総務課長** 一時間当たり三千九百五十五円。

**坂口** 行財政改革プランを作ったのはだれか。

**建設課長** 町民住宅は1戸の空き家に対して5人ぐらの要望がある。全国公募すれば応募はないと思うが、今は町内にいないので今後の検討に課題。

**総務課長** 行財政改革推進本部を設置していく、事務的な役割は総務課。創つて積極的に推進していくために、改革の精神を持つた職員でチームを作ると考える。

## 坂口 祐樹 議員

### 外部委託の主な手法

#### 1 民間委託

町報たら等の各種事業を委託する

#### 2 指定管理者制度

しおさい館等の施設の管理運営を委託する

#### 3 PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）

町営住宅等を民間の資金やノウハウを活用して建設する

#### 4 独立行政法人化

病院等を独立した企業会計で運営する



## 町立太良病院の経営を問う

見陣 泰幸 議員

**答▼新病院に向かって、院長以下取り組んでいく**

**見陣** 太良病院の法人化について。

**町長** 新病院については現在の経営形態で努力してみて、状況を見極めたい。

今現在、法人化の考えはない。

**見陣** これまでの病院運営と指導状況は。

**町長** 平成十二年度に病院の経営診断を行い、平成十三年度は、病棟の看護体制を四対一から三対一に引き上げて院内改善のための四委員会を立ち上げており、平成十五年度から訪問看護ステーション事業を開設しており、院長を初め幹部職員が一般職員に対し改善策を指導してきた。

**見陣** これから病院運営と指導内容、また新病院になってからの運営と指導体制は。

**町長** 新病院に移行するまで第一に、病床六十床の利用率を上げていくか検

る。

討しなければならない第二に、CTスキャンの有効利用第三に、小児科の機能をどの程度までもつていくか、以上三点を重視課題とし取り組んでいきたい。

新病院になつてからは、入院患者及び、外来患者

新病院診断をした後の病院運営は順調に推移されているのか。

**病院事務長** 完全ではないが、ある程度の評価は得られるようになった。

**病院長** サービス面では少しづつ改善できているが

今後、より一層医師、看護士の充実に向けて努力していきたい。

**見陣** 訪問看護ステーションは事業として順調なの

アーサーすることを目指に経営健全化検討委員会で対応する予定である。

新病院事務所と医師あるいは、看護士との連携はうまくいつているのか。

**見陣** 事務所と医師あるいは、看護士との連携はうまくいつているのか。

**病院事務長** 伸び率は上がりつており、順調といえるのだろう。

**病院事務長** 病院運営と指導体制について、事務長の範囲、院長の範囲を教えていただきたい。

**病院事務長** 経営管理、それから物品の購入の補佐する立場だと理解している。

**病院長** 医師の指導、ある

今は、病院職員全員、院長のもとにあると考えている。

**病院長** 医師と看護士、医師と事務所あるいはそれ以外の部署で大きな問題はおきていないと思う。



旧病院



新病院



## 町立太良病院の経営健全化について問う

末次 利男 議員

**事務長** 金額的にはそういうことになつてているが、現実ずっと続いている。

**事務長** 全部適用は院内でも検討するが、町三役と協議し、議会にも諮り了解をいたぐ手続を踏まないといけない。

**末次** 新病院は、四月のオープンに向けて順調な進捗状況である。

安全、安心の町づくりを、町民の健康をサポートする中核的医療機関として期待されている一方、建物だけが新しくなっても、中身の充実がなくては町民の医療ニーズに的確にこたえきれない。

健全経営に向けて、現状認識を踏まえ、これまでの概念を超えた新しい病院への改革が必要である。

新病院は、四月のオープンに向けて順調な進捗状況である。

**院長** 病院内で検証はしているが、患者の大病院思向での術後のリハビリとか、術前の対応などの医療であるのが収益減の要因と思う。

**事務長** 新病院では二・五対一の看護体制への移行が計画されているが、現在七十五%程度の病床利用率で費用対収益はいくらになるか。

**事務長** 今までの院内処方を薬剤師二人体制でやつていたのが院外処方になつたことで一人体制に改善

**事務長** 入院、外来とも目標を目指して努力する。

**事務長** 外来患者二割増し、病床利用率八十%での計算である。

入院を重視した手術や内視鏡手術など収益性の高い医療への取組をやることでの計算である。

あり、八十七%は町外、県外に入院している実態をどのように受け止めて

みんなで太良病院のイメージを上げ、院長のもとにピラミッドのごとく一生懸命やつてもらうことが大命題と思う。

**事務長** が、病院収益はいくらか。

**事務長** 改革プランでの十七行で六百九十四円もらえる。

**事務長** 年度目標値が、入院で一億九千万円、外来で一千三百枚、入院処方せん九百八十枚になり、年間では三千五百万円程度病院収益が上がる。

収入で支出を賄う企業会

は未執行である。  
毎年平均的な執行によつて、患者から愛されではないか。

計の全部適用移行の検討に早急に着手する考えはないか。

国保の入院においては全体で、前年比で六千四百万円増加しているのに対し、町立病院では千九百八十万円減少しており、入院患者全体の十三%で

**事務長** 入院収益は、十五年度比で千五百五十万円、外來についても千七百万円減少している。

**事務長** 雇い上げた看護師を十点、二・五対一で千百七点で、千六百八十円上がる。

**事務長** 入院患者の服薬指導をするに当たつては、薬剤師二名いないとできない。

**事務長** 頭部、胸部、肺がん、腹部の診断等々十分活用できて、放射線科医に大いに期待している。

**事務長** 経営健全化なくして良質な医療なしである。診療科毎の入院、外來目標値を設定したスタッフ全体の経営会議を開き

**町長** 今まで患者さんを大事にしなかつた証左である。

**事務長** 薬の院外処方を八月一日から実施されている

過去五年間の収益的

収入で支出を賄う企業会

# 審査会告報員長別決算特委員長

により給水単価、給水原価の差も減少している。  
事業経営状況は配水管改良等を図られ年々改善傾向にあるものの県平均に達するよう最善の努力を求める。

未収金徴収は公平を保つため計画的分割納入。

滞納者には給水停止の執行を求める。

●町立太良病院会計十六年

度決算千八百四十三万三千円の赤字経営、当年度未処理欠損金 七千百四十五万四千円。

一、町営住宅使用料、保育所負担育英資金、給食水道等の滞納者については

差し押さえ等図るよう求められる。

診療報酬引下患者負担増等で厳しい状況である。

新病院六十床の地域病院として経営健全化を図り信頼、愛される病院として改革を断行し独立採算の原則のもと自助努力に期待する。

一、行政区五十五の実態は五戸から二百六十三戸と格差があり一定の世帯規模による嘱託員の再編を望む。

十六年度普通会計財政指標で経常収支比公債費の増加、消費的経費の抑制はもとより義務的経費は増え繰入金依存から脱却し経費節減を求める。

## 企業会計二議案について

- 水道事業会計は十六年度当年純利益、五百十七万八千六百三十二円計上、前年度と比較して二百十萬八百九十二円減少している。

## 一般会計について

国県の依存財源は縮小さ

營業収益減と營業費用増

れ公債費・債務負担行為など、財政負担の適正や年々事業経営状況は配水管改

良等を図られ年々改善傾向にあるものの県平均に達するよう最善の努力を求める。

未収 四千七百七十八万円  
●山林、造林面積四割強が主伐林分で依然として価格低迷が続いているその中で主伐事業が実施され森林組合の雇用の創出PRを進め、ブランド化の取り組みは評価できるが材の提供等総合的に検証されたい。

●今里地区の圃場整備  
中山間地域総合整備事業で実施しており、一部工事中だがすばらしい圃場ができており、今後の営農に生かしてもらいたい。

●大浦漁協のカキ養殖  
平成十六年度、海苔の共同加工所が建設され、漁婦人部の活動に余剰労力ができ、その労力を利用した支援は十九年度までの事業となっている。

●漁師の館  
平成十六年度、海苔の共同加工所が建設され、漁婦人部の活動に余剰労力ができ、その労力を利用した支援は十九年度までの事業となっている。

●活性化センター

一、社会保険費、老人福祉、子育て支援事業への予算配分、軽減策を研究されたい。  
一、超過勤務について、改善傾向にあるものの振替、意形成を求めるのか。

フレックスタイル制導入、更なる事務効率経費節減をを目指して、十八年度予算を求める。

「明るい希望のもてる町」編成と行財政運営に十分に生かされるよう願う。

# 経済常任委員会報告

一、社会保険費、老人福祉、子育て支援事業への予算配分、軽減策を研究されたい。  
一、超過勤務について、改善傾向にあるものの振替、意形成を求めるのか。

一、社会保険費、老人福祉、子育て支援事業への予算配分、軽減策を研究されたい。  
一、超過勤務について、改善傾向にあるものの振替、意形成を求めるのか。

# 議会のあゆみ

10月～12月

|                  |                   |                               |                                |  |                                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------------------|-------------------|-------------------------------|--------------------------------|--|--------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 11<br>·<br>5     | 11<br>·<br>4      | 11<br>·<br>1                  | 10<br>·<br>27                  | 10<br>·<br>25                          | 10<br>·<br>21                  | 10<br>·<br>20  | 10<br>·<br>18  | 10<br>·<br>17  | 10<br>·<br>13  | 10<br>·<br>11  | 10<br>·<br>7   | 10<br>·<br>5   | 10<br>·<br>4   |  |  |  |  |  |
| り<br>十<br>夜<br>市 | 文化祭・福<br>祉まつ      | 部地区建設促進期<br>成会要望活動            | 有明海沿岸道路西<br>部地区建設促進期<br>成会要望活動 | 議員全員協議会<br>国道207号改良<br>促進期成同盟会要<br>望活動 | 有明海沿岸道路西<br>部地区建設促進期<br>成会要望活動 | 議員全員協議会<br>国道207号改良<br>促進期成同盟会要<br>望活動   | 有明海沿岸道路西<br>部地区建設促進期<br>成会要望活動   | 議員全員協議会<br>国道207号改良<br>促進期成同盟会要<br>望活動   | 有明海沿岸道路西<br>部地区建設促進期<br>成会要望活動   | 議員全員協議会<br>国道207号改良<br>促進期成同盟会要<br>望活動   | 有明海沿岸道路西<br>部地区建設促進期<br>成会要望活動   | 議員全員協議会<br>国道207号改良<br>促進期成同盟会要<br>望活動   | 北方町町制施行60<br>周年記念式典<br>文化祭・十夜市<br>決算委員会<br>国道207号改良<br>促進期成同盟会要<br>望活動                                   |  |  |  |  |  |
| 典                | 塩田町閉町記念式          | 12 12 12<br>· · ·<br>25 21 19 | 12 12 12<br>· · ·<br>17 15 12  | 12 12 12<br>· · ·<br>7                 | 11<br>·<br>28                  | 11<br>·<br>23  | 11<br>·<br>22  | 11<br>·<br>21  | 11<br>·<br>21  | 11<br>·<br>17  | 11<br>·<br>15  | 11<br>·<br>8   | 11<br>·<br>7   | 11<br>·<br>6   |  |  |  |  |
| り                | 地区建設促進期<br>成会要望活動 | J R存続期成会<br>講演会               | 第8回市町村行政<br>講演会                | 郡議長会行政<br>臨時議会                         | 全国大会及び藤津<br>町村議會議長             | 島県塙町、矢祭町を行政視<br>察しました。塙町においては、三町での合併協議の末、太良町同様に行財政構造改<br>革実施プログラムを策定され、これから具体化していく為に検討を重ねていくと<br>いう事でした。 |

## 総務常任委員会

## 視察研修

一月十六日、十七日に福島県塙町、矢祭町を行政視察しました。塙町においては、三町での合併協議の末、太良町同様に行財政構造改革実施プログラムを策定され、これから具体化していく為に検討を重ねていくという事でした。

感じた点は、ほとんどの自治体は今までの常識や慣例の前に今必要とされる当たり前のことが出来ないでいると思われますが、矢祭町は、町長をはじめとする職員みずからが、町民のためになる改革を実践されているという事です。

太良町においても課題を明確にして当たり前の改革をより早く具体化するため今回の研修を生かしていかなればなりません。



各地から十三自治体約百名の参加者が一同に会し根元町長を中心し改革の過程を行いました。

平成十三年から改革を断行されていて、町長いわく今の時代にあつた当たり前のことをやつてているだけだと。

例えば、庁舎の清掃を委託せずに職員みずから交代で行われたり、窓口を利用しやすくするために土日も対応されたり、フレックスタイム（時差出勤）を導入され、平日は午前七時三〇分から午後六時四十五分まで時間延長して対応されています。

編集委員会  
ねがいします。

町民皆様の御意見等をお

編集室より

新年明けましておめでとうございます。

昨年は合併問題で明け暮れましたが、本町は単独運営の方針が決定され、現在に至つて行財政の改革に取り組んでいる状況である。

本年度は直面しているJR問題等について太良町はどう進むべきか町民一体となつて勉強や研究をしてより良い方向性を見出すことを期待します。

|      |      |
|------|------|
| 委員長  | 木下繁義 |
| 副委員長 | 岩島好  |
| 委員   | 恵崎良司 |
|      | 久保繁幸 |
|      | 浜崎敏彦 |
| 見陣   | 坂口祐樹 |
|      | 泰幸   |

